



発行所
長野市PTA連合会

発行人
大矢洋丈

編集責任者
渡邊康博

INDEX

- 1 第59回長野市PTA連合会研究集会
「和ごころ」学び合い、支え合い、育ち合う
- 2 市P連活動レポート
- 3 PTAが懸け橋に!! 活動レポート
鍋屋田小/大岡小中/東北中/吉田小
- 4 大人も子どもも
笑顔で「和ごころ」を育もう!

長野市PTA連合会
[78単位PTA]
児童・生徒数 30,398人
家庭数 25,000家庭
教職員数 2,212人
平成29年4月現在

長野市PTA連合会事務局
〒380-0936
長野市大字中御所字岡田30-1
山王小学校内
TEL 026-268-1301
FAX 026-268-1302
E-mail
ngc-pta@trust.ocn.ne.jp

第59回長野市PTA連合会研究集会

「和ごころ」学び合い、支え合い、育ち合う

第59回長野市PTA連合会の研究集会が、平成29年11月23日(木・祝)ホクト文化ホールで開催されました。今年度のテーマである「和ごころ」を軸に、これまでの市内PTA活動の報告(長野市キッズサミット・職業体験ツアー)や、荻原健司さんを招いた講演会、研究討議が行われ、市内各校が参加した約1100人のPTA会員が一体となって考えを深めました。

「人を育てる」をテーマにした荻原さんの講演と、「自立と主体性」について考えた研究討議の様子を紹介します。



荻原氏講演会

人を育てる

五輪選手育成の現場から
市P連の活動「長野市キッズサミット」と「職場体験ツ

自立と主体性

会場参加型研究討議

研究討議は「自立と主体性」無限に広がる子ども達の未来と可能性」をテーマに、大矢会長がコーディネーター、ゲストの荻原さん、池上昭子先生(青木島小校長)、宮崎千香さん(保護者代表)の3人がパネリストとして参加し、親としての子どもへの向き合い方など意見交換しました。

荻原さんは「将来芸能人になりたいと言ったとき、親から『オリンピックに出ればテレビに出られる』と真剣に答えてくれ、自分の進むべき道が見えた」と、スキーを始めた幼少期

「人」の報告に続き、ノルディックスキー複合五輪金メダリストで、県教委委員の荻原健司さんの「人を育てる」オリンピック選手育成の現場から」と題した講演がありました。

現在、北野建設株式会社スキー部ゼネラルマネージャーとして6名のアスリートの育成にげむ荻原さん。指導者としての8年間の経験を振り返りつつ、相手を尊重し主体性を育てることや承認欲求に応えることの重要性など一時間にわたり熱く語りました。

選手育成では「昔ながらの指示・命令型ではなく、自立と主体性を引き出すことを大切にしている」という荻原さんは、練習メニューを選手に与えることはなく、選手自身に提案をさせ、選択・決断させていきます。「なぜ、自分はスキー選手をしているのか」を深く考えさせる

ことが、自立や主体性を育むことにつながり、それが自ら困難を乗り越える強さに結びつく、と話しました。

また、選手の成績には、賞賛よりも一人ひとりの進歩やそれまでの努力に気付き、伝えるように心がけているとのこと。選手の変化をフィードバックすることで、選手は「この人は自分に関心を持ってくれ、支えてくれる」と感じられ、承認欲求を満たす一方で、承認欲求が満たされていない選手は、自立や主体性に欠ける点があるのではないかと語りました。

平昌五輪に向け荻原さんの指導にも熱が入ります。トップアスリート育成だけでなく、子育てにも役立つ話に、子どもを尊重し認めることが、自立し主体性を持たせられることを再認識する講演会でした。

29年度アピール宣言

親子が育ちあう新たなPTAに向けて

今年度は「和ごころ」をスローガンに、私たち大人が手を取り合い、温もりある大きな輪(和)で子ども達を包み込む教育環境を目指し連携を図ってきました。社会の変化は早く「時代のうねり」が激しい社会となり、多様な生き方が尊重される時代において、子ども達の「輝く未来」をつくるのは私たち大人の役目なのかもしれません。単なるお手伝いをする「ヘルパー」としてではなく、人生の経験者として子ども達を支える「サポーター」として私たちも共に学んでいきましょう。そして「子ども達の応援団」として保護者と先生との連携をより深め、子ども達の可能性を引き出す教育環境を目指してまいります。

同時に「子ども達のために」で終わらせるのではなく、子ども達のために「何ができるのか」をみんなで考え、親子が共に育ち合う新たなPTAの構築に向けて力を合わせましょう。

長野市PTA連合会会長
大矢洋丈



資源回収のことならお任せください



まずはお電話ください!

下見・お見積りは無料です!

資源回収・リサイクルのことならすべて直富商事(なとおみしょうじ)にお任せください

NAOTOMI 直富商事株式会社
長野市大豆島3397-6 http://www.naotomi.co.jp
電話受付 026-222-1889

まかせて安心の許可業者
1 長野市一般廃棄物収集運搬業許可を取得している資源リサイクルの専門業者です。
安全・迅速・確実
2 多くの回収車両と作業スタッフによる丁寧な作業。安心してお任せください。

T-POINT
直富商事で家屋解体・不要品回収をされた個人のお客さまはTポイントが貯まります!

【広告】

市P連活動レポート

長野市教育懇談会

9月22日ホテルメトロポリタン長野にて「長野市教育懇談会」を開催しました。この懇談会は教育委員会、校長会及びPTA連合会の三者が一堂に会し、長野市PTA連合会教育問題委員会テーマ「点を線に、線を輪(和)に『和ごころ』」として活発な討議が行われました。はじめに熊谷教育次長から第二次長野市教育振興基本計画について、次に近藤教育長から『和ごころ』について講演いただきました。その後22のグループに分かれて分談会が行われました。それぞれの立場での取り組みを話すことで現状の実態を互いに共有することができ、「個々だけでなく皆で子ども達のためにできることがあるのでは」ということを認識することができました。



10月28日 東北ブロック親の会 オフィスブリエ・中村美幸さん

今ここにある幸福を見つけ、気づき、感じるこの大切さ



9月2日 南部ブロック親の会 塩崎小学校にハピスポクラブ代表の高山さんと佳さんを招き講演会を開催。不登校の子どもを持つ親はもちろん、そういった生徒が存在する学校や地域に生きるわたしたち全ての人が当事者。不安や恐怖があっても、「死にたい」ではなく「生きたい」と考える社会や家庭であるために考えるべきことが沢山あることに気づきました。

市P連平成29年度各委員会活動報告

■広報委員会 委員長 渡邊 康博 (芹田小)
当委員会では2回の新聞の発行とホームページの運営を中心とした活動でした。これまでの活動を通じ、単位PTA会長の皆様、教師理事の皆様、編集委員の皆様をはじめとする方々にお支え頂きながら、共に「つながり」を大切に活動できた事が大きな糧となりました。一年間ありがとうございました。

■研究会企画委員会委員長 石坂 寿 (七二会小中)
「第59回長野市PTA連合会研究会」「次年度単位PTA会長予定者研修会」の企画運営を行いました。不安だけの始まりでしたが、委員会を進めたい中で「和ごころ」を実感する良き機会となりました。関係各位の方々に多大なるご尽力いただき無事開催出来ました事、感謝申し上げます。皆様、ありがとうございました。

■教育問題委員会 委員長 高橋 良和 (川中島小)
9月22日(金)教育問題委員会の大イベント「教育懇談会」を開催することができました。この分談会では校長会、PTA連合会、教育委員会が子ども達のために活動の話題を共有することができました。大人が知ることで子ども達のためにできることがあると思います。皆様も一歩足を踏み出してみてはいかがでしょうか。

■家庭教育委員会 委員長 千原 淑美 (保科小)
『親子が共に学び合い寄り添いながら育ち合う』をもとに運営してきました。この委員会は子ども達と触れ合う企画が多く、一生懸命な姿や嬉しそうな顔に、子どもってとても素直で、そして大人が思う以上にちゃんと考えて行動していると感じました。そんな姿を大人はしっかり見届け見守る事が親子が共に学び合う事だと思いました。

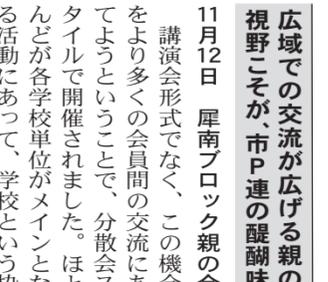
■保護者代表者特別委員会 委員長 森山 奈々 (安茂里小)
2回の単位PTA保護者代表者会や一年間の活動の中で、学級PTAが子ども達の健やかな成長を支え合う応援として大人も学び力を合わせ、学校や地域と連携していく大切さを考えてまいりました。多くの気づきが得られたと思います。今後も子ども達の笑顔のために、保護者と先生が協力し、よりよい活動が出来ますよう、ご協力をお願いいたします。

「和ごころ」を目指した各ブロックの活動レポート

の講演会と、それを踏まえた各々の子育てについてのグループディスカッションを開催。今まさに目の前にある幸せに気付くことで、大切なものが何であるかを覚え、自分自身の存在意義や存在肯定を見つめる。幸せな人とは、幸せに気付くことができる人という、心が洗われる思いでした。



11月11日 東部ブロック研修会 「子どもの人権を尊重する関わり方3つの和ごころ」と題し、ジェイフィールド代表の山口順子さんに、支配するから支援する親になるために「子どもに何が出来るか」を例題やチャートなどを使った分かりやすいセミナーを開催。子育ての目的のひとつに、子どもを自立させるためがある。その心構えを具体的に捉えることができました。



11月12日 犀南ブロック親の会 講演会形式でなく、この機会をより多くの会員間の交流にあてようということで、分談会スタイルで開催されました。ほとんどが各学校単位がメインとなる活動にあって、学校という枠を超えて親同士が交流し、それぞれの特色や地域性なども共有しながら、より広い視野で活動そのものについて気付く機会となりました。



平成29年度 東部ブロック人権教育研修会
主催：長野市PTA連合会・東部ブロック協議会

11月18日 北部ブロック親の会 子ども達自身に「自信」をつけるにはどうするか。講師の原田綾子さんからは「共に学ぼう勇気づけの子育て」と題して、自己肯定感が希薄になっているとも指摘される時代において、まずは大人たち自身も自分を勇気づけることからはじめたいと話がありました。分談会で他校の保護者間交流でも新しいヒントが得られました。

11月25日 西部ブロック研修会 子どもを認め、支え、見守る。生きる強さを伸ばす和ごころ
炭焼き職人の原伸介さんご自身の生い立ちやご経験を基にした講演会を開催。特性や性格、環境も含め、子どもをつい他人と比べてしまいがちな親心に対し、あらゆる可能性を閉ざさず、子どもが自分で夢を見つけ、実現していきけるために必要な力を育むための接し方や考え方という、様々な場面のヒントに溢れるものでした。

10月21日 長野市芸術館 市教委と共催で 青少年健全育成フェス開催
毎年10月は「青少年健全育成環境浄化月間」です。私たちの長野市は昭和52年に青少年健全育成都市を宣言し、以来さまざまな活動をしてきました。昨年10月にも、学校・家庭・地域社会が一体となった市民運動を通じて、青少年の健全育成に対する理解を深めることと一層の充実を図るため、また、長野市教育大綱の実現を目指すことを目的に、長野市教育委員会が主体となり、市P連が共催というカタチでフェスティバルが開催されました。

講演会では、タレントの松山三四六さんによる「一瞬懸命、今を生きて」。「人の憂いになり添うことが強い人になること」「多くの挫折が人を育てること」「自己肯定感と自己有用感、人生をあきらめないことが生きていく上で大きな力になること」など、励まされる数々の言葉に、多くの来場者が聞き入る姿がありました。



講演会では、タレントの松山三四六さんによる「一瞬懸命、今を生きて」。「人の憂いになり添うことが強い人になること」「多くの挫折が人を育てること」「自己肯定感と自己有用感、人生をあきらめないことが生きていく上で大きな力になること」など、励まされる数々の言葉に、多くの来場者が聞き入る姿がありました。

生徒募集

2018 舞台予定

- 8月3日(金) 日本バレエ協会 全国バレエの夕べ (新国立劇場大ホール)
- 8月5日(日) 第27回白鳥バレエ学園発表会 (長野市芸術館)
- 10月13日(土) ダンススタジオブロードウェイ定期公演 オリジナルコレクションvol.28 (長野市芸術館)

Hakucho Ballet Academy 〒380-0836 長野県長野市南果町 639
白鳥バレエ学園・ダンススタジオブロードウェイ 026-234-4551

得 毎月10日は らもんの目

洋服類 6点 衣替えにもうれしい♪

組み合わせ自由 1,971円セール (税別)

シミぬき加工 300円 (税別) 袖 300円 (税別)

今まで当店でも落ちなかったワイシャツの襟・袖口のごれ・黄ばみ落とします。

クリーニング ざれもん TEL.026-225-5100

ピコカもご利用可能 デリシア吉田店 アップランド大豆島店

ブルーカードもご利用可能 (直営店舗のみ)

地域
PTA
学校 家庭

PTAが懸け橋に!! 活動レポート

保護者
子ども
先生
地域住民



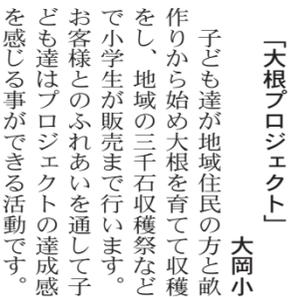
「大運動会」
大岡小
昨年度より地域の皆様と合同の大運動会を開催しております。当日は200名ほどの地域の住民の皆様・保護者の皆様も参加して児童の種目の他に、全体で大玉送り・大岡音頭・人生リレーなど、子どもから大人まで楽しむことができました。



「ふるさとコンサート」
大岡小・中合同
小学生・中学生・保護者・地域の皆様と3年前から音楽会を開催しております。それぞれの学年人数は少ないですが、それぞれの個性を生かし素晴らしい歌声・合奏などを行い、今年度も来賓の皆様・住民の皆様にも多数お褒めの言葉を頂戴いたしました。



「ゆめっこ祭り」
大岡小・中学校
毎年8月最終土曜日に開催されるこのお祭りは、15年前に当時大岡小中PTA保護者の皆様と山村留學センター(現・青木学園長)の提案により子ども達と一緒に地域の皆様に元気な笑顔をお届けしたいとの思いから始まった活動です。地元小中学生の希望者と山村留學生が5月から踊りの練習をし、当日は各地域を回って、踊りを披露し、夕方からは大岡支所前で夜祭を開催。模擬店なども出店し学校の先生方・山村留學生の保護者と



「大根プロジェクト」
大岡小
子ども達が地域住民の方と畝作りから始め大根を育てて収穫をし、地域の三千石収穫祭などで小学生が販売まで行います。お客様とのふれあいを通して子ども達はプロジェクトの達成感を感じる事ができる活動です。



「椎茸の駒打ち」
大岡中
地元保護者の卒業生なども参加し、地域住民のふれあいの場となっております。



「大根プロジェクト」
大岡小
子ども達が地域住民の方と畝作りから始め大根を育てて収穫をし、地域の三千石収穫祭などで小学生が販売まで行います。お客様とのふれあいを通して子ども達はプロジェクトの達成感を感じる事ができる活動です。



「子ども達のため・地域のため」にPTA・学校・地域が力を合わせるこの事業が、この先も永く継続していけたら良いと思います。

ふれあい楽しく 5つの協働活動

学校・家庭・地域がそれぞれに担う教育の連携を深め、保護者・先生・地域住民が支え合いながら相互に補完し、一体となってバランスのとれた豊かな教育環境を目指す必要があります。PTAは、それぞれの教育をつなぐ「懸け橋」となって子ども達を中心とした『和ごころ』を醸成し、教育環境の改善や充実を図る大切な役割を担っています。子ども達の無限の可能性を引き出す、各校の連携した取り組みを紹介します。



老若男女問わず多くの方が参加されました



卒業生による吹奏楽の演奏に合わせて合唱

卒業生も参加の混成合唱

鍋屋田コールドアカデミー

鍋屋田小学校では、コミュニティスクールの組織化に伴い、学校・PTA・地域とのつながりを大切に、夢を持ち、ふるさとや母校を愛する心を育もうと様々な企画をしております。

その中で「鍋屋田コールドアカデミー」というネーミングで混声合唱団を結成し、去る10月21日、当校における校内音楽会のプログラムの1つとして、「大地讃頌」を歌いました。学校職

員、保護者、回覧板を見た地域の皆様、さらに、鍋屋田小学校の卒業生による吹奏楽の応援も加わり、総勢86人の大合唱となりました。指揮、ピアノ伴奏も地域の方にご支援いただき、平日夕方の練習を3回重ねてレベルアップしたその成果は、とても見事なものとなり、観覧した児童たちから盛大な拍手をいただきました。

普段は、それぞれに肩書を持つ人たちが、「鍋屋田コールドアカデミー」の一員となれば、その区別なく、音楽を通して気持ちが一になる特別な場となります。今後もこの事業を盛り上げ、人と人とのつながりの素晴らしさを子ども達と共有していきたいです。

鍋屋田小学校

学校支援のボランティア

0学年三葉組

東北中学校には、「0学年三葉組」というクラスがあります。三葉組の生徒は地域の方をはじめ、卒業生、保護者、先生など、所属も年代も様々な大人たちです。

「子ども達のために何かできないか」という想いで集まった三葉組の生徒は地域の方をはじめ、卒業生、保護者、先生など、所属も年代も様々な大人たちです。

「子ども達が地域に関心を持つきっかけを与えられると嬉しいですね。地域を知られば愛着も生まれる。そうして「地域愛」を持つ子どもが増えれば地域も元気になっていくと思います」と三葉組の方。



三葉組の取り組みは、子ども達の「地域愛」をじっくりと深めています。日本の社会が古くから持っていた人と人のつながりを、学校が持つ人材や施設を利用して、新しい形につくりかえていくことではないかと考えています。また、その中核的な役割を学校が担いたいと願っています。

和ごころで祭り盛り上げ

第42回吉田びんずる

吉田小学校

平成29年7月22日、「第42回吉田びんずる」が開催されました。

事業の一環として夜店の出店をさせていただきました。夜店では「カトトすいか」の販売や「水ヨーヨー釣り」、「スーパボールすくい」に加え、吉田小学校の子ども達の制作物の展示も実施しました。

「子ども達のため・地域のため」にPTA・学校・地域が力を合わせるこの事業が、この先も永く継続していけたら良いと思います。

広報委員会特集

知っ得!

まだまだあるよ イライラ解消法

- ・イライラの原因から離れる
- ・あたたかい飲み物を飲む
- ・10秒間、笑顔をつくる
- ・生活習慣を見直す
- ・トレッキング

☆体を動かして親子で一緒にリフレッシュ!!

市内にあるコースにチャレンジするのもおすすめです。

- ・七二会一陣場平トレッキングコース
- ・若槻一三登山トレッキングコース
- ・若穂一太郎山トレッキングコース
- ・篠ノ井一茶臼山トレッキングコース
- ・松代一尼蔵山・奇妙山トレッキングコース
- ・地附山トレッキングコース
- ・豊野トレッキングコース
- ・戸隠トレッキングコース



若穂 太郎山トレッキングコース こしき岩
写真提供:長野市観光振興課

・ウォーキング・サイクリング etc

コツをつかんでイライラコントロール

大人も子どもも

笑顔で「和ごころ」育もう!

怒りをコントロールする3つの方法

①怒りを6秒やり過ごす

怒りのピークは6秒でおさまると言われています。イラッとした瞬間、反射的に言い返すなどの行動はせず、6秒やりすごす。その際、頭の中だけではなく、体を動かし6秒待つことが効果的です。

例えば、手をグーパーしながら3回深呼吸すれば6秒をやり過ごす事ができます。

②怒りの記録をつける

怒りとは、自分が信じている「~するべき」という価値観が裏切られたときに起こります。記録をつけることにより自分を客観的に見つめることができます。価値観を変える必要はありませんが「許す」「許せない」の2択ではなく「まあ許せる」と範囲を広げることで、「次からこうすればいいかも」といった気付きがあります。

③Iメッセージで伝える

I (アイ) メッセージとは、話すときの主語を「わたし」にすることです。「あなたはこうしてできない!」と言わずに、「わたしはこうしてほしかった」とI (アイ) メッセージで伝えることにより、怒りに任せた伝え方のような険悪なムードにはならないでしょう。

昨今、人とかかわりの中で怒りをコントロールできないがために起きた事件がよく聞かれます。怒りによる行き過ぎた言動で、後悔・自責の念に駆られたという経験をされた方もいるのではないのでしょうか? 怒りの感情と上手に付き合うための方法を紹介します。

昨今、「キレる大人」「キレる子ども」が増えていると言われますが、皆さんはどのような感じですか。「キレる」とは、怒りの感情の自己コントロールがうまくできていない状態と考えられます。私たち人間は、家族、会社、学校、サークル、チームなど大小様々な社会に所属して日々生活しています。円滑に、社会生活を営む上で欠かせないのがコ

ミュニケーション能力です。詩人金子みすゞさんの「みんな違ってみんないい」という有名な詩の一説がありますが、自分とは異なる考え方に接した時に、どのように相手の考えを受け止め、自分の考えを発信するかが非常に重要です。「コミュニケーション能力」と言うと、とかく発信することを中心と考えられがちですが、実は、受け止める力が非常に大

切なのです。今回は、親子関係に限らず、夫婦、子ども、ママ友、会社など様々な場面で活用できる「アングラーマネジメント」をご紹介します。どのよう相手に接した時に、どのよう相手の考えを受け止め、自分の考えを発信するかが非常に重要です。「コミュニケーション能力」と言うと、とかく発信することを中心と考えられがちですが、実は、受け止める力が非常に大

味噌汁の味

「ありがとう。」「おいしーいよ。」そうやって家族がおいしそうに食べている姿を見て胸がじんわり温かくなった。最初口を開けば怒られて、反論する...その言い合いばかりの日々が続いていた。そんなときもらった家族の笑顔と感謝の言葉に、やってよかったという達成感とうれし

平成29年度長野市青少年健全育成作品コンクールの中学校「家庭の日」部門で最優秀賞に輝いた「味噌汁の味」という作文をご紹介します。(部分掲載)

伝える「和ごころ」 ありがとう

いつも、ご飯や洗濯をやってくれる親に毎日の生活の中でありがとうが言えているだろうか。朝、時間がなくて作ってもらった朝ご飯を食べなかつたり、いただきますやごちそうさま、おいしい、の一言も発せずに食べたりやりの少しお手伝いをしただけでありがとうと言われるのはうれししいし、自分の作った料理を、おいしいよとほめられたときは、すごくうれしかった。お互いが協力した



この作品は、いつもお母さんが作ってくれる味噌汁を通じて、毎日のあたりまえに「ありがとう」を伝える大切さを教えてくれます。皆さんも、たくさんの「ありがとう」を伝えてみませんか。

り、感謝したりすることで救われる。自分が人のためにすることで、それが自分にプラスになって返ってくるのがよくわかった。(後略)

編集後記

本年度、二回目のPTA新聞が無事に発刊されました。一年を振り返りますと、各校でコミュニケーションスクールの活動が盛んになり、独自の活動に工夫がされてきました。取材先でも、子ども達の笑顔がとても印象的でした。市P連のテーマ、「和ごころ」のごとく学校、地域、PTAの関わりが、とても重要な役割であることをあらためて認識した一年でありました。今後子ども達が地域の方々と触れ合える活動を大切にして欲しいと思います。取材、原稿の執筆にご協力頂いた皆様、委員会の皆様、本当に、お疲れ様でした。原山和志

委員 長	渡邊康博 芹田小
副委員 長	塚田純久 清野小
委員 一 面 担 当	原山和志 信州中
委員 二 面 担 当	小林昭仁 信州新町小
委員 三 面 担 当	石川 武 附 属 中
委員 四 面 担 当	山森俊浩 天岡小
編集 委 員	飯沼範子 鍋屋田小
編集 委 員	小原克彦 長沼小
編集 委 員	鈴木章斗 下水小
編集 委 員	菅沼郁男 東条小
編集 委 員	南沢公夫 幸井小
編集 委 員	川島晃彦 信更小
編集 委 員	坂爪誠八 豊野東小
編集 委 員	保科博人 東部中
編集 委 員	原山永治 戸隠小
編集 委 員	高橋桂子 三陽中
編集 委 員	北村康一 信更中
編集 委 員	桐山広明 信州新町中
編集 委 員	横田雄一 松代中
編集 委 員	綿貫昌夫 緑ヶ丘小
編集 委 員	徳竹伸介 篠ノ井小
編集 委 員	櫻井 央若 楓小
編集 委 員	松野博則 広徳中
編集 委 員	太田恒太郎 附属小
編集 委 員	相沢志郎 朝陽小
編集 委 員	松山晃伸 朝陽小
編集 委 員	山本勇司 吉田小
編集 委 員	山田啓文 篠ノ井西小
編集 委 員	小林 大 福 花 小
編集 委 員	花崎哲也 徳間小

す

ただ今、
受講生募集中!
詳しくは
ホームページを見てね!

- あなたにぴったりの講座がきっとある!
- 興味・音楽・お花 手芸・工芸
語学・教養 書道・絵画
ダンス 体操・トレーニング
子ども・親子 球技

はじめよう! あなたの好きなコト。
すみへいカルチャーセンター
お問い合わせ
お電話でお気軽に
お問い合わせください
☎ 026-213-8005
くわしくはホームページまで すみへいカルチャー 検索

信濃毎日新聞は
高校受験生を応援します!!

希望者全員に
信学会編集「高校受験用教材」を無料でお届け
— 購読者に信毎販売店が無料でお届けします。—

高校入試
アプローチガイド (6ページ)
1年間で中学3年間の学習内容が復習できるように、各教科の問題を単元別に出題します。7月号と10月号は添削特集号です。解答用紙を郵送でお送りいただくと、信学会の先生方が添削してお返します。

発行月
4月~2月
(1月を除く)

ステップアップ問題集
(32ページ)
各教科で単元ごとに入試でよく出題される問題をまとめた問題集です。実際に出題された入試と類似した問題も収録されており、「入試予想問題集」として活用できます。

発行月
6月~12月

申し込み方法

信濃毎日新聞を購読中の方
アプローチガイド、問題集の申し込み
とお伝えください

信濃毎日新聞を購読されていない方
信毎の定期購読と、アプローチガイド、問題集の申し込み
とお伝えください

① 電話で
0120-81-4341
(平日・土曜日 9:00~17:00)

② ネットで
www.shinmai.co.jp

信濃毎日新聞社のホームページからも教材の申し込みを受け付けています。「高校受験用教材を無料でお届け」パッケージにチェックしていただき、専用フォームからお申し込みください。

【広告】